

佐和田 佐渡ビーチスポーツフェスタ2006
9月10日(日)



観客を含め100名を超える選手たちが佐和田海岸に集まり、ゲストにビーチバレープレイヤーの浜田武仁さんとプロライフセーバーの遊佐雅美さんをお招きし、イベントを盛りあげていただきました。

この催しは、ビーチスポーツを通じて環境美化活動に貢献することを目的とし、参加者はまず、砂浜のゴミ拾いから始めました。きれいになったビーチでは、さまざまな競技がおこなわれました。プレイヤーたちの楽しそうな声と熱い闘いが繰り広げられました。

イベント開催に多大なる協力と賛同をいただきました。支えていただいた多くのおみなさまに感謝し「子供から大人まで楽しめるビーチクリーン運動」として今後も継続していきたいです。

佐渡ビーチクリーン運動2006

実行委員長 相田 忠明

イベント詳細:

新潟県ビーチバレー連盟ホームページ

<http://www.geocities.jp/nbv2001/>

両津 加茂湖を颯爽と駆け抜ける
(第24回 佐渡レガッタ) 9月10日(日)

湊地区加茂湖漕艇場で、第24回佐渡レガッタが開催されました。レガッタとはいわゆるボートレースのことで、この「佐渡レガッタ」は、地域の特性および環境にあったボート競技の普及を図るために行われています。



当日は、市内外から女性・子供を含む45チーム約250名が参加し、7つの種目に分かれて、その実力を競い合いました。参加した選手は、時折降る雨にも負けず、相手より先にゴールしようと、あるいはより速いタイムを出そうと、呼吸と力を合わせて一生懸命にボートを漕いでいました。

なお、一番速かったチームは、マスターの部「DOSSA」

優 勝	
マスターの部	DOSSA
ミックスの部	湊四桜組
ピギナーの部	湊3丁目青年部
レディスの部	キューティーチャーズ
ジュニアの部	ヤンキース

チームで、500メートルを2分17秒84で走破しました。

金井 収穫の秋! サツマイモ掘り
9月28日(木)



9月28日(木)中興保育園うさぎ組(年中)14人が、園庭に植えられたサツマイモ掘りを行いました。この苗は、保育キーパーの石塚さんより園児達にプレゼントされたもので、5月に1人1本ずつ植えました。

先生の合図と共に皆でつるを引っ張り、出てきたサツマイモに歓声が上がりました。楽しいサツマイモ掘りとなりました。

中興保育園では、年長・年少組のお友達が協力して栽培したジャガイモやとうもろこしを、8月にも収穫しています。なんと、園庭の畑作りもみんな頑張ったそうです。

土いじりの楽しさを知っている園児達は、笑顔が輝いて見えました。



赤泊 秋季祭礼 徳和まつり9月15日(金)
蕙場まつり9月17日(日)

徳和まつりの見所は夕方の練り上げです。大獅子が1時間ほどかけ石段を練り上げると、続いて鬼太鼓、神輿が大掠神社の境内に集まります。鬼が雉刀を持ち、勇壮な舞などが奉納されると、あちこちからシャッターを切る音が聞こえました。



徳和まつり
3匹の鬼の勇壮な雉刀の舞

蕙場まつりの鬼太鼓では2匹の鬼の息の合った踊りが見られます。飛び入りで半纏を着て踊ったり、見物客もその家の方からの郷土料理をご馳走になったりと、佐渡の伝統芸能と味覚を堪能することができるまつりが、今も代々



地元を受け継がれています。

今後もこの伝統のまつりを盛り上げるとともに、地域の人々との交流を深めていって欲しいものです。

蕙場まつり 子鬼の踊り



小木 **元気いっぱい!「敬老会」**
9月15日(金)



小木あゆす会館に於いて、18年度の敬老会が盛大に開催されました。

主催者の加藤会長より、ご苦労されて来た皆さんに「健康で楽しい毎日を過ごしてください」と、慰労と激励の

言葉が贈られました。また、小木地区老人クラブの佐々木会長から、「老人クラブに加入し活動を通して、共に元気な時間を創造して行きましょう」と、エールが贈られました。会場には、100歳を迎え表敬訪問を受けられた宿根木の「石塚祐林」さんをはじめ、今年米寿を迎えた19名中9名が来場され、労いの言葉と記念品を受け取られていました。粛々と進められた会も、アトラクションが始まると、会場は立ち見も出るほどの盛況ぶりとなり、340名余りの来場者は舞台上の動きに合わせて、一喜一憂する和やかな雰囲気になりました。身を乗り出し目を細めてのひときは、来場された皆さんに、「やさしさと元気」を与えられたことと思います。終演後、口々に互いの元気を称え合い、再会を誓って会場を後にされました。

真野 **100歳を祝う 9月13日(水)**
～吉岡・藤井サクさん(99歳)～

「敬老の日」を前に、100歳の長寿をお祝いする行事があり、100歳の慶賀として総理大臣並びに県知事からそれぞれお祝いが贈られました。

今回訪れた、真野・吉岡にお住まいの藤井サクさんは、明治40年生まれで99歳で、年が明けると100歳になりますが、日頃から、庭の草取り・水やりをはじめ干してある洗濯物を取り入れたりと常に体を動かしているとのこと。また、好きな食べ物は生野菜と鮮魚とのことでしたが、何でも食べ、お酒なども飲まれる若いおばあちゃんでした。いつまでもお元気でください。

なお、今回全市内では今年度100歳を迎えられる18人の方々にお祝いが贈られました。



新穂 **小学生トキ解説員が活躍!**
9月19日(火)



行谷小学校3・4年生28名が新穂トキの森公園で訪れた観光客を相手にトキの解説を行いました。

40年ほど前にトキを飼っていた日本で唯一の学校で

ある行谷小学校は、これまでトキにかかわる様々な活動に取り組んできました。今年も総合学習のテーマにトキを選び、市と協力して学習活動を行なっています。子どもたちが解説員となって観光客に説明する今回の試みは、これまで得た知識が人に役立つことで充実感を得ることと、この経験を今後の学習に生かしていくことを目的として計画されました。

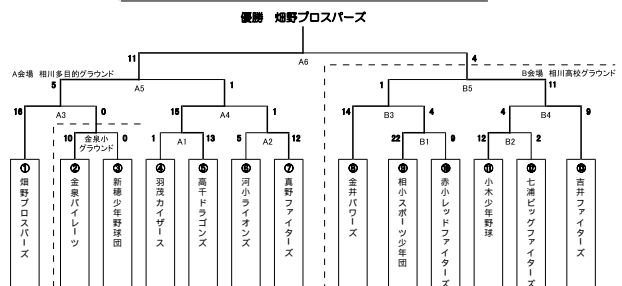
夏休み中に事前の練習を行うなど、万全の準備でこの日を迎えた子どもたちは、3人一組になって訪れた観光客にトキの生態や現状などの解説を始めました。色々な質問にも的確に答え、その知識と説明の確かさに皆さん感心しきりの様子でした。

相川 **相川で少年野球大会**
9月17日(日)

相川地区の3会場で、島内小学校13チームによる親善野球大会が行われました。この大会は相川の恩賜金記念の一環として毎年行われているもので、今回で26回目となります。この大会で優勝旗を勝ち取ったのは、畑野小学校と後山小学校合同の畑野プロスパースチームで、昨年も優勝したチームでした。2位は両津吉井小学校の吉井ファイターズ、3位は、高千小学校の高千ドラゴンズチームと金井小学校と金井吉井小学校合同の金井パワーズでした。



第26回「恩賜金記念親善少年野球大会」の記録



羽茂 告知放送で児童の下校時刻をお知らせします



「羽茂の子どもを守る会」が告知放送設備を利用し児童の下校時刻を知らせる取り組みを始めました。

羽茂の子どもを守る会(以下守る会)は、羽茂小学校の父兄や

民生委員ほか関係機関を中心に、羽茂の児童を交通事故や犯罪から守るために今年7月に発足した組織です。

今回の取り組みは、守る会の活動の一環として、先進地区の事例を参考に、9月から開始されました。

羽茂小学校の下校時刻になると、学区の家庭の告知放送端末から下校を知らせる放送が流れます。

守る会では児童の下校時刻を告知することによって、主婦の買い物や、お年寄りたちの散歩がてら、地域全体で児童を見守ってもらい、危険や事故から守れればと考えています。

新穂 事故ナシ、酒ナシ、お願いします 9月25日(月)



秋の交通安全運動期間中に新穂トキっ子保育園の園児が市役所新穂支所前で交通安全を呼びかけました。

かわいらしい

安全運転をお願いします!

トキの姿に扮した31名の園児から、手づくりのメッセージカードや「事故なし」の願いを込めた“梨”を手渡されるとドライバーは思わず笑顔に。



トッキーも交通安全のお手伝い

最近は悲惨な交通事故が報道されています。事故を起こさないよう、あわないようにこれからも、安全運転をお願いします。

赤泊 今年の文化祭(11月5日)の演目は「川茂の太郎杉」

川茂小学校では、毎年文化祭で民話劇を発表しています。今年題材とする民話は、川茂地区に古くから伝わっている「川茂の太郎杉」です。



手をつないで大きさを実感

まず9月8日(金)に民話語り部の方からおいでいただき、民話の語りを聞かせていただきました。子どもたちは時間を忘れて話に引き込まれ、真剣なまなざしで聞き入っていました。そして13日(水)は太郎杉公園に行き、太郎杉の切り株を囲んで、その大きさを実感しました。子どもたち15人が手をつないでぎりぎり一周することができ、「大きくてびっくりした」という感想をもつ子がほとんどでした。



わあ、大きいね!

現在児童は、11月5日(日)の文化祭に向けて練習や準備を頑張っています。

随想

ゆき夢飛行 No.5

佐渡市長 高野宏一郎

トライアスロン

夏祭りの最後、小木祭りが終わって9月の第1週の日曜日、いつものトライアスロンがやってきました。平成元年に始まったトライアスロンも今年は第18回を数えます。昨年は泉田知事がスイムに出場して話題になり、今年はランで参加予定と楽しみにしていたのですが、たまたま山古志の国道291号線の開通式と重なり、知事の参加はなりません。(小熊副知事からはスタートの挨拶をいただきました。)当日(3日)朝、素晴らしいトライアスロン日和の中で何事も無くスタートした1時間後にアクシデントが起きました。仙台から参加した庄子幹雄さんがスイム中に体調に異変をきたしたのです。ライフセーバーによてすぐに船上に助け上げられ、救急処置が行われ、医師に伴われて、心臓マッサージを行いながら佐渡病院に運ばれましたが、まことに残念ながら帰らぬ人となってしまいました。

佐渡トライアスロン18回の長い歴史の中で初めての出来事でした。医師による診断は病死ということでしたが、とてもトライアスロンを愛しておられたと聞くにつけ、今後のスイムの参加者安全に配慮して何らかの対応を考えなければなりません。ご自身の病気という結果でしたのでその後も大会は続けられました。あくまでも青い初秋の空とは相反して重苦しい雲が我々の心を覆いつくすことになりました。

8日には仙台でしめやかに葬儀が執り行われ、大竹助役に参列してもらいましたが泉田知事、市長の献花と共に、遺された娘さんから請われて差し上げた完走Tシャツが改めて涙を誘っていたとの報告を受けました。